

(様式第4号)

上田市図書館協議会 会議概要

1 審議会名	上田市図書館協議会
2 日時	令和7年3月13日(水) 午後6時30分から午後8時00分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出席者	中村会長、大井副会長、甲田委員、小林委員、小林委員、松永委員、内山委員
5 市側出席者	金田上田図書館長、中村上田情報ライブラリー館長、井澤上田図書館係長、赤地上田図書館係長、和田上田情報ライブラリー次長、藤森丸子図書館次長、菊地真田図書館次長
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年3月13日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 会長あいさつ

上田図書館の貴重資料「花月文庫」のデジタルアーカイブ化に関わっており、令和6年度は、約60作品のデジタル化ができた。公開は3月の予定で、江戸時代の庶民が親しんだ小説などをデジタル化し、とても分かりやすく解説されていた。そのうち5作品はプロのアナウンサーの解説が付き、動画サイトでも見ることができる。

3 協議事項

(1)令和6年度重点目標の取組状況について

(事務局)

昨年度3月の協議会で、令和6年度の重点目標として取り組む事業について説明した。それを踏まえ、資料1に基づき、これまでの取組状況を説明したい。

項目1、古文書や郷土資料等貴重資料のデジタルアーカイブ化と利活用の推進については、事業の必要性として、古文書や郷土資料等の貴重資料は、一般公開されていない資料が多くある。これらをデジタルアーカイブ化することにより、誰でも簡単に閲覧が可能となるため、推進していくものである。

令和6年度の目標は、「古文書とその解説、郷土資料等のデジタル化を関係課と共に進め、当該データを利活用できる手段を検討し実施する」とした。

令和6年度の取組状況としては、上田市スマートシティ化推進計画にデジタルアーカイブ事業を位置付けるとともに、上田図書館所蔵の貴重資料「花月文庫」のうち46点の資料のデジタルアーカイブ化を実施した。

今後の課題は、「花月文庫以外の貴重資料について、「何を、いつ、どのように」デジタルアーカイブ化していくのか、方針を定める必要がある」とした。

項目2、学校連携による子ども読書活動の推進については、事業の必要性として、小中学校図書館との更なる情報共有及び、高校との連携強化により、エコールの利用促進を図る必要がある。

目標は、「令和5年度に実施した小中学校司書へのアンケート結果に基づいた学校図書館との情報共有及び、高校との連携強化によりエコールの利用促進を図る」とした。

令和6年度の取組状況としては、小中学校は、学校図書室司書との情報交換を行い、子どもの読書支援のための研修会を実施した。また高校については、学校図書室の現状把握と情報収集を行い、学校からの要望事項について検討した。

今後の課題としては、より良い連携を図るために、情報交換を継続し、学校図書館の現状や要望を把握していく必要がある。

項目3、上田図書館改築における整備計画策定準備については、上田図書館の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、上田市図書館施設整備計画(個別施設計画)では、令和12年を目途に改築を進めるとしており、当面の目標として令和6年度から設備、機能面等の検討に着手する計画となっているため、整備計画策定の準備を始める必要がある。

ただし、ここで言う「上田市図書館施設整備計画」は、上田市公共施設マネジメント基本方針にもとづいて、上田市全体の施設の老朽化や更新の必要性を把握するために策定したもののうち、図書館施設全体の部分のことである。上田図書館の施設整備については、耐震基準の観点から目標を掲げたものである。

令和6年度の目標は、「上田図書館整備計画の策定に向けた市民からの意見収集及び、整備計画策定委員会を設置し検討を始める」とした。

取組状況としては、整備のための財源や整備手法について庁内で検討を進めたが、市における事業の優先順位や財源の課題などが多くあり、大きな進捗はなかった。図書館整備に関するご意見は、様々な方面から多数いただいております。今後も幅広い形で意見収集を進めたい。新上田図書館整備の基本的な考え方は、令和7年度に策定する予定の第三次上田市図書館基本構想の中で検討し、定めていく。

今後の課題としては、上田図書館の整備は、これからの図書館に求められる機能や市のまちづくりの中で果たす役割を踏まえ、市民のニーズを取り入れながら、基本構想を早急に策定する必要がある。

(質疑)

(委員)

市民からの意見収集の方法はどうか。一般の方からの意見収集する機会があったのか。

(事務局)

現時点では実施できていないが、必要性はあると考えている。整備計画に着手する際、タイミングを見て実施したい。

ただし現時点では、図書館整備について庁内合意形成が進んでいない。老朽化が進み、整備の必要性は誰もが感じているが、財源の手当てがないと、本当の意味での市の意思決定にはならない。

(委員)

重点目標にも示された令和12年度の改築は、決定ではないのか。改築をしない場合もありえるのか。

(事務局)

改築の必要性があることは間違いないが、市として改築が決定しているわけではない。
令和12年度は、現行図書館が建築されてから60年が経ち、建物的に限界がくる、その時期を示しているものであり、必ずこの年度までに改築するという、実効性があるものではない。

(委員)

実効性はないにも関わらず、来年度、第三次の基本構想はたてるのか。予算の見込みがない中で、どのように立ていくのか、構想にどのような意味があるのか。

(事務局)

事務局としては、来年度は大事な時期と考えている。現時点では図書館整備について何も決まっていないが、やり方はいくつかある。話を前に進めていけるような準備をしていきたい。

第三次の基本構想の段階では、具体的に「どこに」「どれくらいの大きさで」整備するか、までは決められない。予算が絡む問題である。そこにいく手前の段階として、コンセプト、どんな図書館が必要か、どんな機能を持たせるか、をしっかりと固めていく必要がある。

例えば第二次構想では、上田図書館に「中央館的機能を持たせる」と位置付けているが、そもそも中央館機能とは何なのか、という問題もある。この点については、第二次構想が出来た後にも検討されてはいるが、それが今後30年先の図書館に通用するのか。考え方の整理が必要である。

他方、予算の上限ありきで「これだけしかないから、その範囲でやってくれ」となってしまうのも困る。金額の枠が最初にありきとなって、この場所、これくらいの規模の図書館という流れは、望ましい姿ではない。

市民有志の皆さんから様々な御提言をいただいている。それらを参考にしながら、基本的な考え方の策定を進めていきたい。

(委員)

市の側としては、何も決まっていないということか。図書館だけでなく、市全体の施設や道路が老朽化しているのは承知している。そのなかでも、だいたいこれくらいの時期までに、建てるのか、建てられないのか、そういう部分も未定なのか。

(事務局)

未定である。

(委員)

説明を聞いていると、「予算が取れば、計画をつくりはじめます」という風に聞こえた。耐用年数を考えれば、改築は必要である。全国各地に、工夫をした図書館がある。とりあえず、こんなものがほしいという、意見を集めてはどうか。予算がついてから「それではこれから検討始めます」では、それなりのものしかできない。

(委員)

以前、改築の話聞いた時には、意思決定されているものと思っていた。

しかし今の説明を聞くと、現時点では、意思決定されていない。まずは意思決定してから、それから予算をつけて、検討していかないと、意味がない。

(事務局)

意思決定できるように準備を進めていく。図書館のような社会教育施設への国の補助金は、かつてはあったが、現在はない。大型施設を市単独の財源でつくるのは大変困難で、できるだけ国の補助制度や有利な起債などを活用していくことが必要。合併以降の大型施設整備は、合併特例債を活用してきたが、使える枠はほとんどなくなって

いる。

財源の選択肢が狭まる中で、市の中での優先順位を上げていく必要があるが、図書館は準備が整っていない状況で、いかにお膳立てしていくかが重要な時期に来ている。

(委員)

お膳立てで、建設が実現する可能性はあるのか。

(事務局)

まずは、面積や大きさの話ではなく、こんなコンセプト、こんな機能の図書館が必要という、基本的な考え方が重要と考える。この20年ほどを見ても、全国の図書館の姿はずいぶん変わってきている。いろいろな図書館ができている。そのようなものを参考にしながら、まずは、これからの上田市にどういう図書館が必要か、基本的な考え方を市民の皆さんや庁内で共有していくことが必要である。

(委員)

最初に、市民にもっと盛り上げてもらう。そういう方法は無理なのか。

(事務局)

建てるという意志決定がされていないところで、市民の皆さんの盛り上げだけ先行してよいか。それで改築が実現するのか、という課題がある。

(委員)

これから、市民の皆さんが主役になって、そういう話を盛り上げていけたらよいと思う。

(2)令和7年度重点目標について

(3)第三次上田市図書館基本構想について

(事務局)

資料2に基づき、令和7年度重点目標について、またそれと関連する、第三次上田市図書館基本構想について説明したい。令和7年度重点目標については、資料記載の3つを掲げた。

項目1の第三次上田市図書館基本構想の策定に向けた取組については、平成29年度から令和7年度までの9年間を期間とする「第二次上田市図書館基本構想」が終了することから、第二次構想の取組の評価と課題整理を行った上で、新たな時代に対応する第三次構想を策定するものである。

目標としては、「構想案の作成推進、図書館協議会及び社会教育委員会議で構想案の審議」とした。

項目2の、上田図書館整備計画の策定の推進については、項目1とも関連し、令和6年度重点目標の取組状況でも説明したが、上田図書館は、昭和45年に建設され、建設後50年以上経過しており老朽化が進んでいる。上田田市公共施設マネジメント基本方針「上田市図書館施設整備計画(個別施設計画)」では、令和12年を目途に改築を進めるとしており、設備、機能面等の検討に着手したいものである。

目標は、「第三次上田市図書館基本構想へ上田図書館整備のための基本的な考え方を盛り込む」とした。

項目3の、第三次上田市子ども読書活動推進計画策定準備については、令和3年度から概ね5年間を期間とす

る「第二次上田市子ども読書活動推進計画」の終了に向けて、これまでの取組の評価と課題整理を行った上で、新たな時代に対応する計画を策定するための準備を進めるものである。

目標は、「第二次計画の進捗状況・課題の確認」とした。

続いて、資料3-1、資料3-2に基づき、第三次上田市図書館基本構想の策定について説明する。

第一次構想、第二次構想は、「社会教育に関する諸計画」(社会教育法第十七条)と位置づけ、社会教育委員会に諮問し、協議を経て答申を受けてきた。

ただし、社会教育委員会に諮る素案等については、前段で、図書館長の諮問機関である図書館協議会に諮り、答申を受けるなどして、社会教育委員会との整合を図ってきた。

また、平成24年文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、公立図書館が「基本的運営方針」を策定する努力義務を定めており、第二次上田市図書館基本構想は、この「基本的運営方針」として策定してきた経過がある。

このような経過を踏まえ、第三次上田市図書館基本構想の策定についても、社会教育に関する諸計画として、また、図書館の基本的運営方針を定めるものとして策定したい。また、現在、市の総合計画や生涯学習基本構想など様々な計画の策定が進められている。これらの計画と関連付けを行いながら策定する。

スケジュールについては資料3-2に示すとおり、まず図書館協議会で協議をいただき素案を策定し、それを社会教育委員会に図り、最終的な答申案としたい。

(質疑)

(委員)

図書館協議会と社会教育委員会での審議の方法、順序について、説明いただき、それは理解した。ただ、今の日程だと、社会教育委員会が進んでいる中で、図書館協議会側では、そこでどのような議論がされているか、全くわからないままになってしまう。

社会教育委員が答申を出す前に、どこか1回でも、折り返せる、つまり社会教育委員の議論を図書館協議会でお聞きして、何がしかの提案ができるような機会があってもいいのではないかと。

(事務局)

図書館側では、社会教育委員会でのスケジュールを調整できない。そのため、例えば、社会教育委員会での議論を踏まえた上で、図書館協議会委員には、書面でお渡ししご意見をいただく、などの何らかの方法を検討したい。

(委員)

資料3-1の「諸計画」の部分で、市のほかの計画と関連しながら進めるとあるが、これら5つの計画は既に全部できているのか、これから作るのか。

(事務局)

いずれも現在策定中である。特に、上田市総合計画と生涯学習基本構想は、図書館も関わって策定を進めている。

(委員)

スケジュールを見ると、令和7年度は5月から図書館協議会で話し合うということか。

(事務局)

来年度5月の終わりに第1回目を開催したい。その後の日程は、今後調整していく。

(4)その他

(委員)

委員の皆様から、何かあるか。

(委員)

会議の前に、資料を事前送付していただくよう要望する。これまで事前送付であったのに、今回は当日配布となった。事前配布の方が資料も読み込めるし、考えて意見を言いやすい。

(事務局)

次回以降の会議は、事前に送付したい。

(委員)

令和7年度重点目標では、令和6年度にあったデジタルアーカイブ化の事業がなくなっている。今後、デジタルアーカイブはどのようにっていくのか。またデジとしょ信州についてはどうか。

(事務局)

デジタルアーカイブ化に取り組まないということではなく、事業は継続していくし、第三次基本構想にも盛り込んでいく。また、デジとしょ信州については、今年度が3年目となる。当初の計画では5年間は継続することとなっており、5年を迎えた時点で、全体的な傾向をみてどうするか、全県的に検討していく。

4 その他

- ・事務局から、移動図書館車やまびこ号のお披露目式について説明
- ・今期で退任となる委員から一言ずつあいさつ

5 閉 会